

2. 調査結果の要旨

コミュニティバス・デマンドタクシーと路線バス利用者の傾向はほぼ共通

- ・どちらも女性の利用者が圧倒的に多く、60歳以上の高齢者の利用率が高い
- ・清川地区や高城地区が利用率が高く、岩代地区が最も利用率が低い
- ・利用者の中の免許証所有率は約1/4と低い
- ・利用目的は通院が最も多く、利用回数は約半分の人が月1,2回と答えている

路線バスでは運行条件が改善されても利用する人は少ない

路線バスでは、運行本数や停留所の位置等、たとえ運行条件が改善されたとしても、65歳以上の一人暮らし世帯で若干利用者が増えるものの、利用すると回答した人は少ない。

コミュニティバス・デマンドタクシー利用者の満足度は高い

運行内容について尋ねると、どちらかという満足と答えた項目は路線バスに比べて、コミュニティバス・デマンドタクシーでは満足度の割合が高く、また、どちらかという不満の割合は低くなっている。特に岩代地区では不満と回答した人はなく、満足度が高い。

また、利用しない人のうち7割がバスの運行内容自体に理由があるわけではなく、自家用車利用で今の所必要がないためと答えている。

コミュニティバス・デマンドタクシー試行運行の情報はほぼ浸透している

全員知っていると一部の家族が知っているを合わせると、9割近くの住民が広報の記事や試行運行のチラシから、試行運行について情報を得ている。ただし、一人暮らし世帯や、利用率が低い若年の夫婦世帯では知らない人の割合が若干多くなっている。

コミュニティバスへの税金の投入に対する不満の声は少ない

「一定の利用者負担を求めた上で税金を使うことはやむを得ないと思う」という意見も含め、「税金を使うことは当然だと思う」という肯定的な意見は7割を越えており、「不公平になるので賛成できない」といった否定的な意見は少なかった。

利用料金は特にデマンドタクシーでの検討が重要

利用料金200円についての考えを尋ねたところ、コミュニティバス(中心部)では「適切」が最も高く、デマンドタクシーは山間地域でも岩代地域でも「安い」という意見が最も多くなっている。半数以上の方が運行継続には料金の値上げもやむを得ないとしており、特にデマンドタクシーについての料金の検討が重要視されている。